

資料④

過去の申請実績及び
事業・講評内容

団体名： 特定非営利活動法人スノック
法人設立日： 令和2年（2019年）1月6日
団体登録： 令和4年度（2022年度）～

今回の申請	
事業名	「未来を創るスタディサークル」
内容	少人数で構成する対話を重視したスタディサークルを8回開催する。スタディサークルの議題は、都度参加者で意見を出し決定する。
対象者	生涯学習やリカレント教育に興味のある一般市民
実施場所	市内の公共施設（オンラインを含む）
申請額	300千円
内訳	会場使用料,講師謝金,ボランティア交通費,消耗品費, 印刷製本費,通信運搬費,備品購入費
決定額 (確定額)	-
講評	-
その他	

団体名： 特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

法人設立日： 平成30年（2018年）12月12日

団体登録： 令和元年度（2019年度）～

	今回の申請	令和3年度	令和2年度	令和元年度
事業名	幼稚園退園後の 親子の居場所づくり事業	放課後の子どもの居場所 「放課後クラブあおむし」作り事業	放課後の子どもの居場所 「放課後クラブあおむし」作り事業	放課後の子どもの居場所 「放課後クラブあおむし」作り事業
内容	地域の幼稚園退園後の居場所を運営する。 ・実施日：火・木 ・実施時間：14時30分～17時00分	地域の児童の放課後の居場所を運営する。 ・実施日：月～金 ・実施時間：15時00分～17時30分 10時30分～17時30分／三季休業時	地域の児童の放課後の居場所を運営する。 ・実施日：月～金 ・実施時間：15時00分～17時30分 10時30分～17時30分／三季休業時	地域の児童の放課後の居場所を運営する。 ・実施日：月～金 ・実施時間：15時00分～17時30分 10時30分～17時30分／三季休業時
対象者	地域の幼稚園児がいる世帯	地域の幼稚園児がいる世帯	地域の幼稚園児がいる世帯	地域の幼稚園児がいる世帯
実施場所	法人事務所	法人事務所	法人事務所	法人事務所
申請額	300千円	350千円	300千円	300千円
内訳	ボランティア人件費,印刷製本費, 消耗品費,講師謝金	ボランティア人件費,印刷製本費, 消耗品費,講師謝金	ボランティア人件費,印刷製本費, 消耗品費,講師謝金	ボランティア人件費,印刷製本費,消耗品費
決定額 (確定額)	—	350千円 (確定前)	240千円 (240千円)	300千円 (278千円)
講評	—	事業単独の収益性は乏しいが、公的制度が利用できない児童を支援する公益性の高い事業である。過去の指摘を受け、利用者から登録料を徴収するなど事業の自立性を高める努力を評価する。 当該事業の情報発信・PRを活発にし、事業理念に共感を持つ企業等から寄付金や助成金を獲得し、更なる事業継続にかかる負担軽減に努めていきたい。	申請法人が実施する他事業からの経費補完で成り立っている印象を受ける。事業の継続性の確保のため、利用者負担の見直しや運営方法を再考する必要がある。また寄附を募る等の財源確保策も必要である。 事業の自立性を確保すべきであると考え、利用者の月会費を500円増額することを想定し、補助申請額から60,000円減額し、240,000円を交付する。補助金の範囲内で利用者負担額等を検討していきたい。	放課後の児童の居場所づくりとしての事業内容は公益性があり評価できるが、事業運営経費の継続性に課題を感じる。 法人の人員体制、参加者会費、三季休業期間の運営等について、見直しを検討していただきたい。
その他				

団体名： 特定非営利活動法人ハーモニークラブ

法人設立日： 平成31年（2019年）3月18日

団体登録： 令和元年度（2019年度）～

	今回の申請	令和3年度	令和2年度	令和元年度
事業名	えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業	えほんライブを中心とした 体験型の自己肯定感育成事業	えほんライブ事業	えほんライブ事業
内容	(1) 法人が参画する団体主催のイベントで えほんライブや体験型活動を無料実施。 (2) 子育て支援関係者を対象とした保育 オンラインサロンを運営する。 (3) ボランティア体験講座を実施する。	(1)・(2) 子育てに関するイベント等で えほんライブや体験型活動を無料で実施する。 (3) オンライン保育サロンを無料で開催する。	(1) 保育園の地域開放日等のイベントにおいて 無料でえほんライブを上演する。 (2)えほんライブに関するオンラインサロンを 無料で開催する。	保育園の地域開放日等のイベントにおいて無料で えほんライブを上演する。
対象者	(1) 幼児・保護者・子育て支援関係者 (2) 子育て支援関係者 (3) 一般市民	(1) 幼児・保護者・子育て支援関係者 (2) 一般市民 (3) 子育て支援関係者	(1) 幼児・保護者・子育て支援関係者等 (2) 子育て支援関係者	幼児・保護者・子育て支援関係者等
実施場所	(1) 子育て支援施設・野外イベント (2) オンライン (3) 市内公共施設	(1) 子育て支援施設 (2) 野外イベント (3) オンライン	(1) 子育て支援施設の野外イベント (2) オンライン	子育て支援施設の野外イベント
申請額	300千円	80千円	61千円	60千円
内訳	ボランティア人件費・交通費, 講師謝金,施設使用料,消耗品費,印刷製本費	ボランティア人件費・交通費,講師謝金	ボランティア人件費・交通費,その他謝礼金 通信運搬費,印刷製本費,消耗品費,著作使用料等	ボランティア人件費・交通費,施設使用料, 通信運搬費,印刷製本費,消耗品費,著作使用料等
決定額 (確定額)	—	80千円 (確定前)	61千円 (61千円)	60千円 (42千円)
講評	—	SNSの活用により積極的に情報発信を行う点や 大学生などの外部組織と連携を行う点を評価す る。過去に本補助金制度の適用を受けた既存事業 を発展させた申請であるため、出演者の人材育成 を行い、当該事業の自立を目指すことを期待す る。 事業の自立に向けて、質の高いパフォーマンス を提供することに対する報酬を受益者から徴収す ることを検討されたい。	SNSの活用等の情報発信性を評価する。えほん ライブによる効果を客観的な数値により公表・発 信することにより、協賛・寄附を得ることができ ると考える。 クラウドファンディングの活用等のさらなる財 源確保について検討していただきたい。	有償事業を実施する等の運営の堅実性や、子ど も食堂等の他の実施主体との連携している点、情 報発信に各種手法を用いている点を評価する。 また、保育士を目指す学生を受け入れる等の事 業の発展性について期待する。今回の事業実施結 果を検証し、今後の事業の拡大に努めていただ きたい。
その他				

団体名： 特定非営利活動法人大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会

法人設立日： 平成22年（2010年）8月20日

団体登録： 平成28年度（2016年度）～ 平成30年度（2018年度），令和2年度（2020年度），令和4年度（2022年度）

	今回の申請	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
事業名	大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会		大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会		大阪メチャハッピー祭in枚方	大阪メチャハッピー祭in枚方	大阪メチャハッピー祭in枚方
内容	青少年を対象とした南中ソーランの市民参加型祭典をスポーツの日に実施する。		青少年を対象とした南中ソーランの市民参加型祭典をスポーツの日に実施する。		青少年を対象とした南中ソーランの市民参加型祭典をスポーツの日に実施する。	青少年を対象とした南中ソーランの市民参加型祭典をスポーツの日に実施する。	幼稚園、学校、地域の有志による団体が順番に踊りを披露するために必要な広さを確保するため、舞台を増設する。
対象者	南中ソーランを行う団体 教育機関		南中ソーランを行う団体 教育機関		南中ソーランを行う団体 教育機関	南中ソーランを行う団体 教育機関	南中ソーランを行う団体 教育機関
実施場所	ニッペパーク岡東中央 （岡東中央公園）		ニッペパーク岡東中央 （岡東中央公園）		ニッペパーク岡東中央 （岡東中央公園） 枚方市民会館	ニッペパーク岡東中央 （岡東中央公園） 枚方市民会館	ニッペパーク岡東中央 （岡東中央公園） 枚方市民会館
申請額	287千円		287千円		500千円	400千円	300千円
内訳	賃借料及び会場設営費, 印刷製本費,法被購入費		賃借料及び会場設営費, 印刷製本費,法被購入費		賃借料及び会場設営費,印刷製本費, 法被購入費,飲食費,写真撮影費,警備費,雑費	賃借料及び会場設営費,印刷製本費, 法被購入費,飲食費,写真撮影費,警備費,雑費	舞台増設費
決定額 (確定額)	-		187千円 (-)		276千円 (222千円)	220千円 (220千円)	300千円 (-)
講評	-		市内からの参加者を増やすよう努めていただきたい。本来の目的である「青少年の健全育成」が達成できるよう、事業内容を再考する必要があると考える。 今年度はオフィシャルチームの法被に係る経費を対象外として187,000円を交付するが、次年度以降の補助申請については、参加者負担や協賛・寄附を募る等の自立運営の方策を検討していただくことを条件とする。		飲食費,写真撮影費については、昨年度と同様に補助対象外とし、模擬店諸費及びその他経費の4,000円を除く512,000円のうち271,000円を補助する（+活動分野希望寄附から5,000円）。 今後については、模擬店の出店料やチラシにおける広告を募集するなど、団体自ら財源確保し、運営できる仕組みづくりを検討すること。	事業の公益性、継続性は評価できる。今回は、事業の継続を支援するため、申請額の一部を補助するが、今後は、計画性・発展性について検討してほしい。 申請額のうち、食事費、記念撮影費及び資材保管費（倉庫賃料）については、補助対象外とし、316,240円（音響関係費については、補助上限額200,000円とする。）のうち220,000円を補助する。	地域活性化に繋がる事業であることは、高く評価できる。 舞台増設費の予算300,000円の根拠となる見積書を中間報告までに提出のうえ、できるだけ耐用年数が長く、できるだけ多くのひとが踊れる舞台を製作してほしい。
その他			補助事業中止により、確定額が0円となった。				舞台増設費以外の支出を目的とした変更申請があったが、非承認となり、交付取り消しとなった。

団体名： 特定非営利活動法人陽だまりの会

法人設立日： 平成11年（1999年）9月3日

団体登録： 平成20年度（2008年度）～平成23年度（2011年度）,令和4年度（2022年度）～

今回の申請	
事業名	精神障害に関する地域交流事業
内容	(1) 地域ふれあい祭り及びもちつき大会の開催 市民と福祉事業所利用者が交流できるイベントを開催する。 (2) 講演会又はシンポジウムの開催 精神障害に関する講師を招聘し、講演会を開催する。
対象者	(1) 一般市民 (2) 障害者の問題や社会問題に関心のある人
実施場所	(1) 法人事務所敷地内 (2) 市内の貸会議室（ラポールひらかた等）
申請額	350千円
内訳	講師謝金,旅費交通費（講師分）,消耗品費,印刷製本費, 通信運搬費,保険料,会場使用料,備品購入費
決定額 (確定額)	-
講評	-
その他	

団体名： NPO法人ひらかた生物飼育部LABO

法人設立日： 令和3年（2021年）10月28日

団体登録： 令和4年度（2022年度）～

	今回の申請
事業名	ひらラボ里山ユースプロジェクト
内容	耕作放棄水田の整備事業や生物調査を行う里山整備体験会を開催する。 同時に学生スタッフが里山や生物の多様性に関する講義を行う。
対象者	里山や生物の多様性に興味のある中学生・高校生
実施場所	穂谷地域の耕作放棄水田 穂谷公民館
申請額	420千円
内訳	備品購入費,消耗品費,印刷製本費,会場使用料, ボランティア人件費,保険料
決定額 (確定額)	—
講評	—
その他	

団体名： 特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ

法人設立日： 平成17年（2005年） 1月24日

団体登録： 平成28年度（2016年度）～

	今回の申請	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事業名	福祉有償運送事業	要介護高齢者の余暇活動のための 外出ニーズに応える事業	要介護高齢者の余暇活動のための 外出ニーズに応える事業	要介護高齢者の余暇活動のための 外出ニーズに応える事業	福祉有償運送利用拡大事業	福祉有償運送事業の強化
内容	福祉有償運送事業を提供する。 サービスの一部は、ふるさと納税の返礼品 として、寄附を集める。	介護保険の対象とならない余暇活動のための外 出を支援する。 ・月12回程度の想定（水・木／午後）	介護保険の対象とならない余暇活動のための外 出を支援する。 ・月4回程度の想定（隔週水・木）	余暇活動のための外出支援事業の利用希望者と 支援者のマッチングを行い、支援者に対して報酬 を支払う。また事業のPRを行う。 ・月6回程度の想定（隔週水・木）	福祉有償運送の利用拡大を図るため、事業で使 用する車両を追加でリースする。	法人が実施している福祉有償運送事業のPR活動 を強化し、利用者の増加を図る。
対象者	市内在住者又は目的地が市内の者かつ 単独で移動が困難な者のうち、事前に登録 を行った者	市内に住む要介護認定を受けている、 又はその状況に準じた移動制約者	市内に住む要介護認定を受けている、 又はその状況に準じた移動制約者	市内に住む要介護認定を受けている、 又はその状況に準じた移動制約者	市内在住者又は目的地が市内の者かつ 単独で移動が困難な者のうち、事前に登録 を行った者	福祉有償運送事業の利用者 介護・福祉事業所や医療機関の関係者
実施場所	対象者の自宅(市内)⇔目的地(市外も可) 対象者の自宅(市外)⇔目的地(市内のみ)	枚方市内	枚方市内	枚方市内	枚方市内	枚方市内
申請額	300千円	104千円	192千円	300千円	421千円	1,300千円
内訳	車両リース料	ボランティア人件費	ボランティア人件費・交通費, 通信運搬費,印刷製本費	ボランティア人件費,通信運搬費,印刷製本費	車両リース料,駐車場代	ボランティア人件費,通信運搬費, 消耗品費,印刷製本費
決定額 (確定額)	-	104千円 (確定前)	192千円 (96千円)	0円	341千円 (307千円)	0円
講評	-	利用対象者への事業PRを強化し、利用者の母数 の増加を図り、より公益性の高い事業となること を期待する。同一事業を複数年度申請しているた め、当該事業の発展性が乏しいと評価する。 また、団体希望寄付や法人への直接寄付の募集 など自立した事業の実施方法や法人の財政状況改 善を検討されたい。	事業の継続性を確保するため、利用者の負担を 再検討する必要があると考える。補助金の実績報 告において事業実績数を明記することを求める。 債務超過が長期化しており、早急に法人の財務 状況の改善策をたてることを検討していただき たい。	事業の着眼点は良いが、法人の財政面に課題を 感じる。現状の事業計画では事業を実施するごと に法人の負債が累積するため、今後、事業計画を 立てる際には、収益性を上げ事業継続できる計画 となるよう努めていただきたい。 また、外出支援ボランティアとの連携や、人材 確保について情報発信する等、運営体制の改善に ついて検討いただきたい。	今後の事業の発展を期待し、車両リース料のみ 認める。今回の補助金を活用し、利用者を拡大す る努力をするなど、自立した運営に向けて計画的 に進めること。	福祉有償運送サービス自体は、公益性があり、 必要な取り組みであると評価するが、今回の事業 内容は、計画性が乏しく、継続性が見込みにく い。 広報等について、効果が上がる手法を検討した 上で、次年度以降に再考いただきたい。 団体希望寄附の30,000円については、来年度に繰 り越すものとする。
その他			事業内容や経費の支出方法が承認内容と異なってい たため、確定額が減額。		リース開始が1月遅れたため、確定額が減額。	